

図画工作科 小学校第2学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	すきなことなあに したことや見たことからすきなことを見つけて描く	A (2) ア	2		小学校第1学年 「すきなものいっぱい」	○クレヨンパスに加えてカラーペンや、一部に絵の具を使わせ筆を自由に動かしたり、好きな色を選んだりすることができるようにする。画用紙も大きなものや場合によって2枚つなげる工夫をし、枠内に収めなくてもよいことを理解し発想を広げることができるようにする。	小学校第4学年 「木々を見つめて」	■日常生活を思い起こし、その中の出来事から心に残ったことや楽しかったことを発表しあう。一人一人好きなことがいろいろあることに気付かせ、自分の描きたいものにつなげるようにする。
	マグネット・マスコット 磁石の付いた飾りを作る	A (2) ウ	3		小学校第1学年 「うきうきボックス」	○伸ばす、つまむ等色々な技法を使いながら日常で使えるものを作ることを通して、それを使う喜びを味わわせる。また、家族にも喜んでもらい、作品作りの意欲をもたせていく。	小学校第3学年 「カラフルねん土のお店へようこそ」	■教科書の作品はどんな場所で、どんな目的で使えそうか、自分ならどんなマグネットを作りたいかなど問いかけ様々な反応から作品作りのイメージを広げるようにする。
5	えのぐじま 絵具をぬることを楽しむ	A (2) ア	2		小学校第1学年 「クルクルぐるーり」	○筆の動き、筆先の工夫が表現の基礎となる。絵筆をダイナミックに動かし、線描と面描を使って表現していく。筆の思わぬ動き、色の意外な組み合わせでイメージを広げていけるようにする。	小学校第3学年 「絵の具と水のハーモニー」	
	土ってきもちがいい 土や砂などで、体全体を使って楽しく活動する。	A (1) ア	2		小学校第1学年 「しぜんとなかよし」	○手で触った冷たい感じや手にくっつく感じなどを十分に味わい、全身で活動することで、材料の特徴や、形の作り方を体験できるようにする。	小学校第5学年 「自然の中で感じたことを」	■裸足になり、体全体を使って「土」を味わう。水を加えることで様子が一変する面白さも体験させたい。山にしたり、帽を突き刺す活動に展開していくことができる。
6	ゆめのぼうけんものがたり 主人公が動く仕組みから想像したことを描いて楽しむ。	A (2) ア	4		小学校第1学年	○子供がオリジナルのストーリーを作り、自分の主題を自ら見つけ表現していく。自分のお話を発表し、友だちのお話を聞くことで自分や友だちの良さにも気づけるようにする。		
	ゆらゆらウキウキ 作った紙テープのつなぎ方を工夫して飾る。	A (2) イ	4		小学校第1学年	○カッターナイフを使って太さを一定に揃えた色画用紙や色厚紙をテープ状にしてつなげる。紙の切り方やつなぎ方、折り方、組合せ方などに工夫ができるようにしていく。	小学校第3学年 「ふわふわさんのかざり」	■何本かの紙テープを使い、つなぎ方を変えるといろいろな形になることを教師が実践して見せ、様々な工夫ができることを知らせる。
7	いろいろなみず 色水を作ったり、並べたりしながら工夫して活動する。	A (1) イ	2		小学校第1学年 「うっしてあそぼう」	○濃い色や薄い色、何色かを混ぜた色など色の種類や分量で、様々な違いを見つけていく。微妙な色の違いを見つけて並べていくことが色彩のすべての学びにつながっていく。	小学校第3学年 「長い紙、つくって」	

	ぶかぶかゆらゆら 空き容器を使って水に浮かべて遊ぶものを作る。	A (2) ウ	4		小学校第1学年 「うきうきボックス」	○1・2年上では、簡単な動くおもちゃの工作をし、ここでは水上を動くおもちゃの工作である。水に浮く仕組みを生かし制作する。濡れる場合の接着の方法などをここでしっかりと学ばせたい。	小学校第3学年 「タイヤをつけて出発進行！」	
8	ひみつのグアナコ 『グアナコ』という言葉から想像したものを工夫して作る。	A (2) ア	2		小学校第1学年 「みてみて、いっぱいつくったよ」	○言葉から想像した動物を土粘土で立体に表す。手や腕を十分に働かせて粘土に向かうことを大切にしたい。	小学校第3学年 「ひみつの粘土王国」	
9	どうぶつさんとわたし 動物と遊んだ時の様子を絵に描く。	A (2) ウ	5		小学校第1学年 「えがおつうしんにっこりニュース」	○動物をイメージすることと、それを表したい形や色で描くことを一体化させて表現していく。この段階では足の形や尻尾の付き方などあまりこだわらず、色もこんな色だったら楽しいという前向きなとらえ方をするようにする。	小学校第3学年 「わたしの休み時間」	■生活科などで動物を飼っている場合は、心に残った出来事を思い出すよう話し合いたい。生き物と触れ合う機会が少ない場合は「動物」の概念を広げて昆虫や両生類を描くことも提案するなど工夫していく。
	コロコロ大きくせん 転がる動きの面白さから想像を広げ、動くおもちゃを工夫する。	A (2) イ	4		小学校第1学年 おさんぽトコトコ	○1・2年上では、動く仕組みは、みな同じであったが、ここでは自分でおもしろい動きを見つけて、その仕組みを考えておもちゃを作るといった一歩進んだ活動ができるようにする。	小学校3学年 「パタパタわにさん、クロールにちょうせん」	
10	ちきゅうからの おくりもの 自然の材料を使って工夫して活動する。	A (1) イ	2	・自然材の微妙な色合いや不思議な形を生かし、つなげる、並べる、組み立てるなど様々試すことができる。そして自分たちの作りたいものにするために発想し、活動を広げていく必要がある。	小学校第1学年	○身近な自然材に出会い、手に触れ、並べたり積んだり、親しみをもって自然の中で活動する。また、季節を感じたり、自然材の形や色の違いに気付いたりできるようにする。	小学校第3学年 「いつもの場所で」	
	ひらいて見てね わたしの えてがみ 伝えたいことを絵手紙に描いて楽しむ。	A (2) ア	4			○伝えたい相手や内容を考えて、それにふさわしい形や色を表現していけるようにする。	小学校第4学年 「ハッピーカード」	
	あきをならべていいかんじ いろいろな形や色の葉っぱを使って飾るものを作る。	A (2) ウ	5		小学校第1学年 「ひかりのくにのなかまたち」	○集めた自然材の形や色を生かして構成し、和紙を張って作る。「造形の学びは材料集めから始まっている」こと、和紙を張り、半透明になった作品の光を通す効果を知ることができるようにする。	小学校第3学年 「光と色のファンタジー」	

1 1	<p>うつして見つけて</p> <p>ローラーや型紙を使ったいろいろな写し方を工夫する。</p>	A (2) イ	6		<p>小学校第1学年</p> <p>「うつしてあそぼう」</p>	<p>○同じものが何枚もできるという版の特徴、紙版や木版、スチレン材等版材の違いによる刷り上がりの効果の美しさなど、様々な版表現ならではの楽しさを体験させるようにする。</p>	<p>小学校第3学年</p> <p>「はんで広げたゆめ」</p>	<p>■子供たちの目の前で実際に画用紙を切り抜き、それを版として写し取って見せ、版を通して形が生まれる瞬間の新鮮な驚きを感じとらせることから、活動につなげていく。</p>	
1 2	<p>あつまれ、おなじかたちいっぱい</p> <p>「自分マーク」をもとに模様を作る。</p>	A (2) ウ	2		<p>小学校第1学年</p> <p>「ともだちをつくらう！」</p>	<p>○「自分マーク」をもとに、サイズの違う同じ形をいくつも作り、形や色、方向を考えながら平面上に構成し貼り付けていくようにする。平面構成やデザインの基礎となっていく。</p>	<p>小学校第3学年</p> <p>「まんがでゴー」</p>		
1	<p>かみを立てたかたちから</p> <p>紙の立たせ方や飾り方を工夫し、思いついたものを作る。</p>	A (2) イ	5	<p>・子供たちの発想で立て方を工夫できるようにいろいろと試すことが必要である。その中で自分なりの方法で紙を立てて、そこから思いついたことをもとに切り開いたり、装飾したり、さらに発想を広げることが必要である。</p>	<p>小学校第1学年</p> <p>「ゆめのまちさんちようめ」</p>	<p>○厚みのある紙を切る、窓を切り開けるなどの試しながら発想を広げ、カッターナイフの扱いに十分に慣れるよう、また、安全にも十分留意するよう指導する。</p>	<p>小学校第3学年</p> <p>「小さなはこのものがたり」</p>		
2	<p>きって、ひねってつなげると</p> <p>紙パックや紙コップを切ったり、つなげたりして楽しく活動する。</p>	A (1) ア	2		<p>小学校第1学年</p> <p>「おおきなかみでわっくわく」</p>	<p>○牛乳パックや紙コップを途中で切り落とさず、長く細く切り開き、組合せていくなど、既存の形を変形させて新たな形を作り出して楽しむようにする。</p>			
	<p>くいしんぼうのなかまたち</p> <p>透明な容器の形や透き通る面白さを生かして作る。</p>	A (2) ウ	3			<p>○透明な容器の、透き通る特徴や容器の形を生かして中に詰め物をしたり、飾りをつけたりして作れるようにする。光や明かりを取り入れた造形の工夫へとつながるようにする・</p>	<p>小学校3学年</p> <p>「くっ下や手ぶくろにまほうをかけると」</p>		
	<p>キラキラシャボンで</p> <p>石鹸の泡から出来たかたちや色を生かして</p>	A (2) ウ	3	<p>・色シャボン水を使うので息を吹き込みできるかたちから発想を広げる。できた形から付け加える絵を工夫したり、色の組み合わせを楽しみさらに発想を広げることが必要である。</p>	<p>小学校第1学年</p>	<p>○色シャボンなどいろいろなものが描画材料となる。できる模様は偶然性が高いので形や色からイメージをもち、何かに見立てるなどして絵に表すこともできるようにする・</p>	<p>小学校第3学年</p> <p>「しょうかいします、わたしのだいすき」</p>		
3	<p>ピコリンせいのカラフルパーティー</p> <p>作ったものをみんなで力を合わせて展示し、楽しむ。</p>	A (2) ア	4		<p>小学校第1学年</p> <p>「こころをこめてプレゼント」</p>	<p>○技法、発想、展示方法も含め、友だちと協力して作ったり、作った作品をきょうりよくして飾ったりできるようにする。</p>	<p>小学校第3学年</p> <p>「みんなのゆめがひろがって」</p>		
	合計		70						